

## Nuck管と虫垂炎の併存

術前に正確に区別できず

Nuck管の成り立ちと単純CTでの虫垂炎診断できない原因

### 60代 女性

主訴 腹痛

既往歴 特記事項なし

#### 【現病歴】

便秘で3/16 近医受診

処方受け、排便+ 以前より左鼠径部の腫大あり

徐々に増大し疼痛もあり、食事もできず

本日腹痛で近医受診、鼠径ヘルニア嵌頓で当院紹介 常用薬なし

#### 【現症】

結膜：貧血なし、黄疸なし

腹部平 イレウス所見なし 下腹部はキリキリと痛むと

左鼠径部：鶏卵大 hard mass+ 還納できず 疼痛+

最終食事 3/15 3/16からは水分のみしか摂取できず

最終本日朝 水分少量のみ

本人、娘さんに 左鼠経ヘルニア嵌頓 or Nuck管嚢腫

# 術後経過

【夫、長女夫婦に】

左Nuck管嚢腫であった。

腹腔内に膿瘍あり 原因は虫垂炎であった

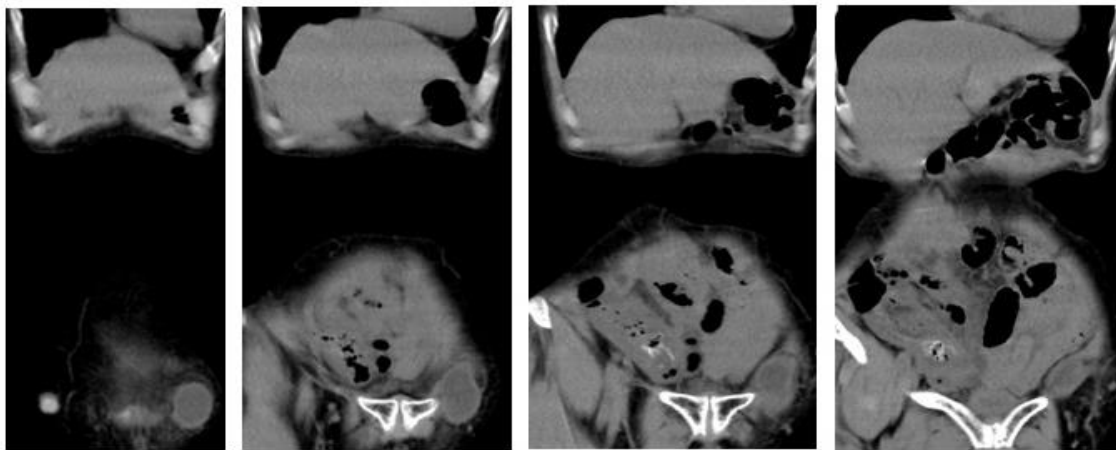
→メッシュ使用できず、後日再度手術が（Nuck管、TAPP）  
が必要となる

盲腸基部にも炎症強く、断端埋没できず。補強のみ行っている

合併症：糞瘻、遺残膿瘍、腸閉塞、創感染などについて

虫垂炎を乗り切って一旦退院

炎症がなくなってから2-3ヶ月後に手術で、入院期間は予想より長くなります。



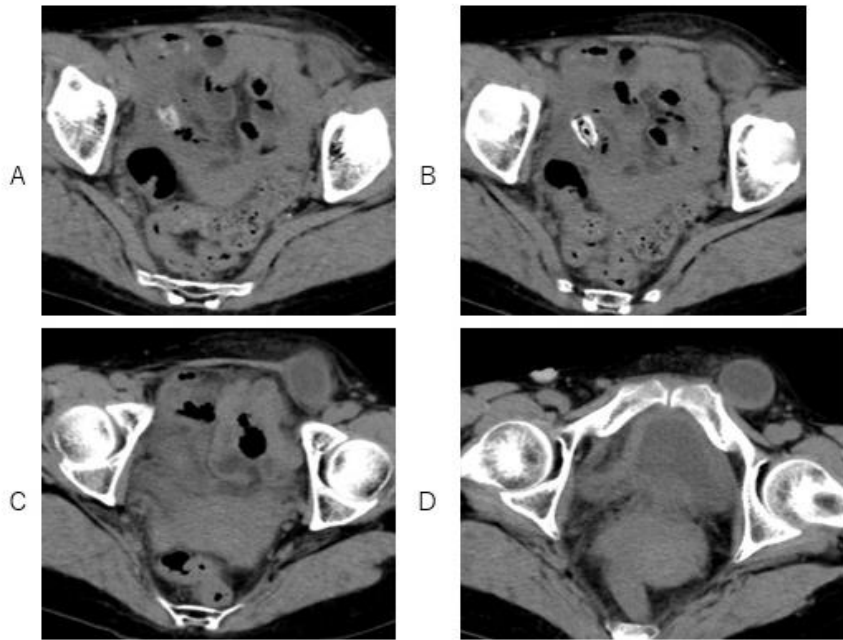
A

B

C

D

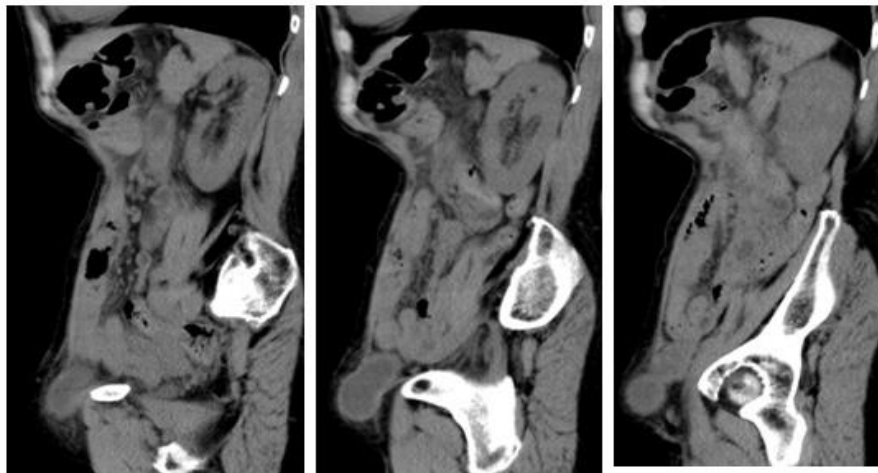
冠状断で左側鼠径ヘルニア 右側鼠径部に石灰化がみられる  
鼠径ヘルニア 外側から入り込み間接ヘルニア



壁肥厚した嚢胞性病変が左鼠径部に存在。

腸管と接しており腸管の陥入も疑われた

口側と推測される腸管に拡張はみられず、少なくとも嵌頓は否定的

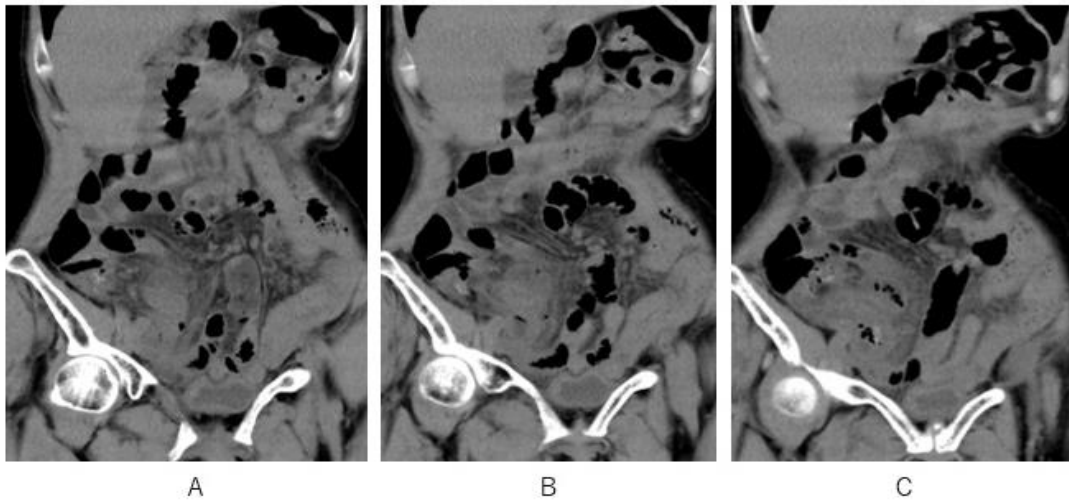


A

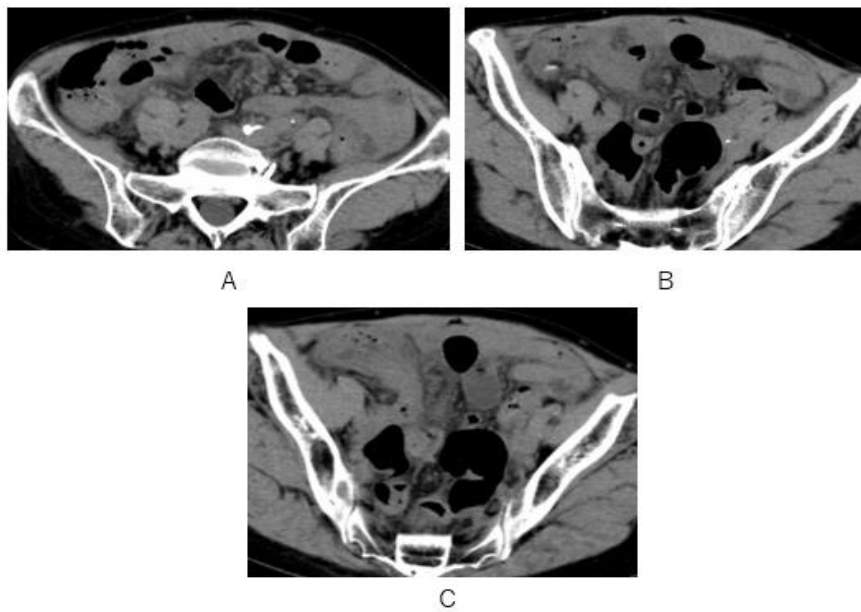
B

C

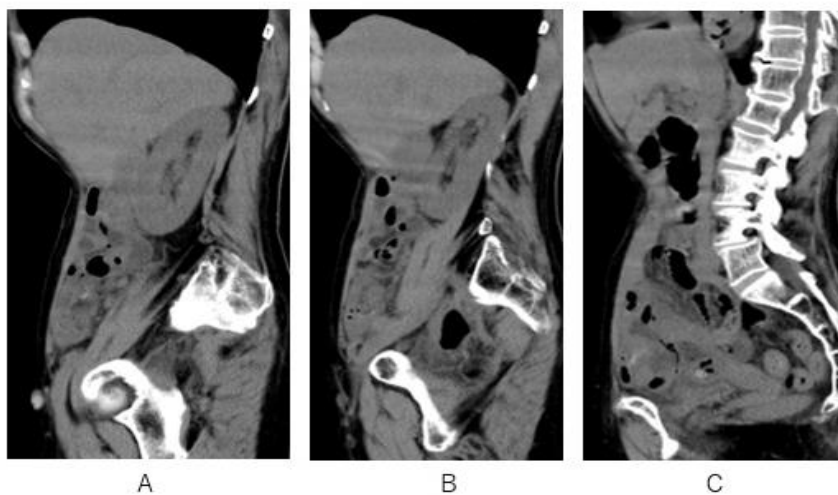
矢状断で やや壁肥厚の嚢胞性病変が鼠径靭帯内にみられた。



冠状断で虫垂炎らしき浮腫性肥厚がみられる



盲腸は下垂 軸位断では回腸末端と腫大虫垂の区別が難しい



矢状断では 回腸遠位部と腫大した虫垂、  
外腸骨動脈との区別が難しい

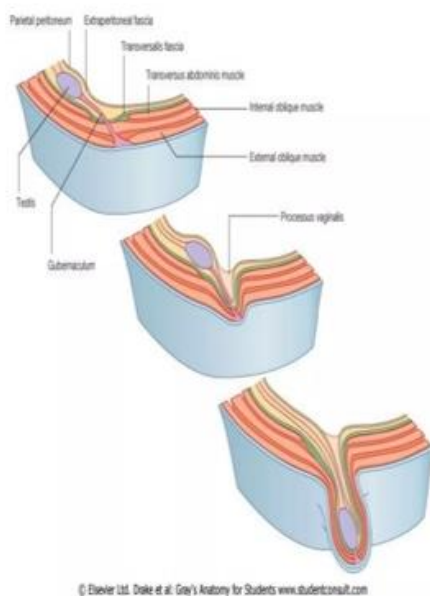
# 虫垂炎の同定が困難な場合

- 虫垂炎が腫大すると回腸末端との区別ができなくなる
- 盲腸下垂で下降するとS状結腸との重なりで腫大の虫垂が同定できなくなる
- 腹腔脂肪が少ないと重なりが顕著になり、脂肪のdirty signが識別できなくなる

対策：造影CT：血管や腸管の明瞭化で連続性を追うことが容易になる

# 女性に生じるNuck管と男性の陰嚢水腫の関係と発生機序

- 睾丸、卵巣の成熟の際に生じる腹膜腔の袋の残存
- 共に液貯留の嚢胞として残存。
- Nuck管は鼠径靭帯内に生じる



## 胎生期、睾丸の下降

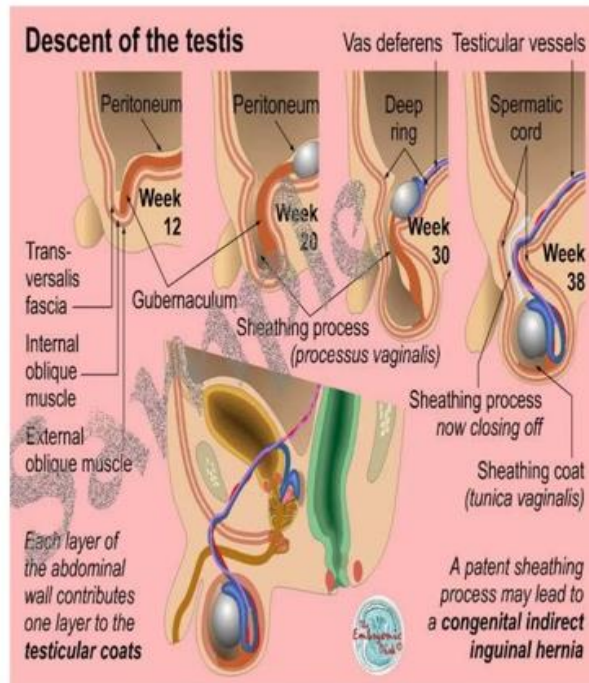
後腹膜に位置する睾丸は外腹斜筋に付着している導帯(Gubernaculum)に引っ張られて下降が始まる。

導帯に導かれた睾丸の下降と共に腹腔、横走筋、内腹斜筋、外腹斜筋が道を開けるように折れ込む。腹腔の折れ込みは袋状(Process vaginalis)となる。

横走筋、内腹斜筋、外腹斜筋の折れ込みによって生じた道は鼠径靭帯に相当。

正常では腹腔の袋は閉鎖し、鼠径靭帯は結合織となり、導帯は収縮する。

- The first stage of testicular descent occurs **10–15 weeks** of gestation with the testes moving to the inguinal region.
- The gubernaculum (gubernaculum Hunteri) is the caudal inguinoscrotal ligament that connects the testis to the lower abdomen. The cranial suspensory ligament (mesonephric ligament) is the cranial ligament that connects the testis to the posterior abdominal wall.



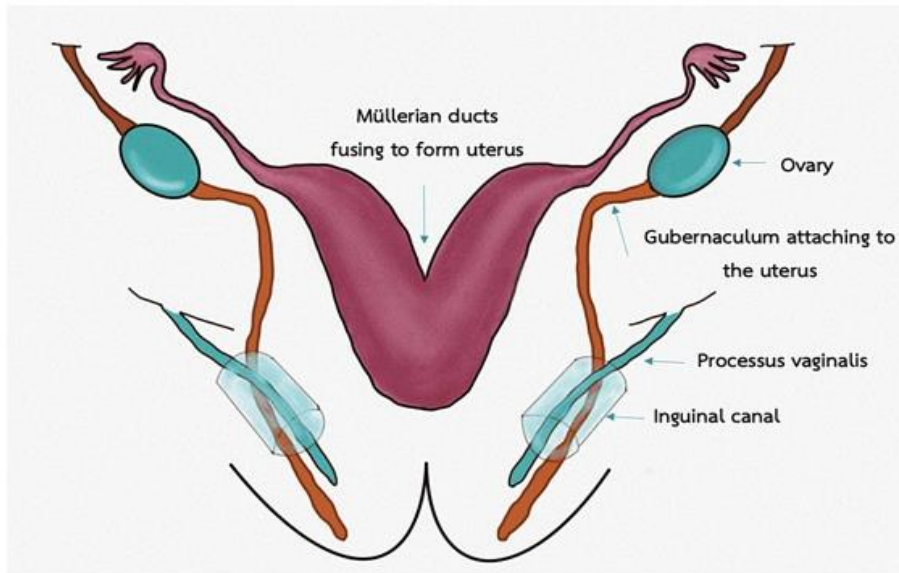
後腹膜に位置していた睪丸の下行は導帯(Gubernaculum)に引っ張られて下降

その際、腹膜腔に袋((Process vaginalis))が突出し同時に一緒に下降し陰嚢を形成

その後、通路(鼠径靱帯),腹膜腔の袋は閉鎖

鼠径靱帯の開存は鼠径ヘルニアになる可能性

袋の残存は陰嚢水腫

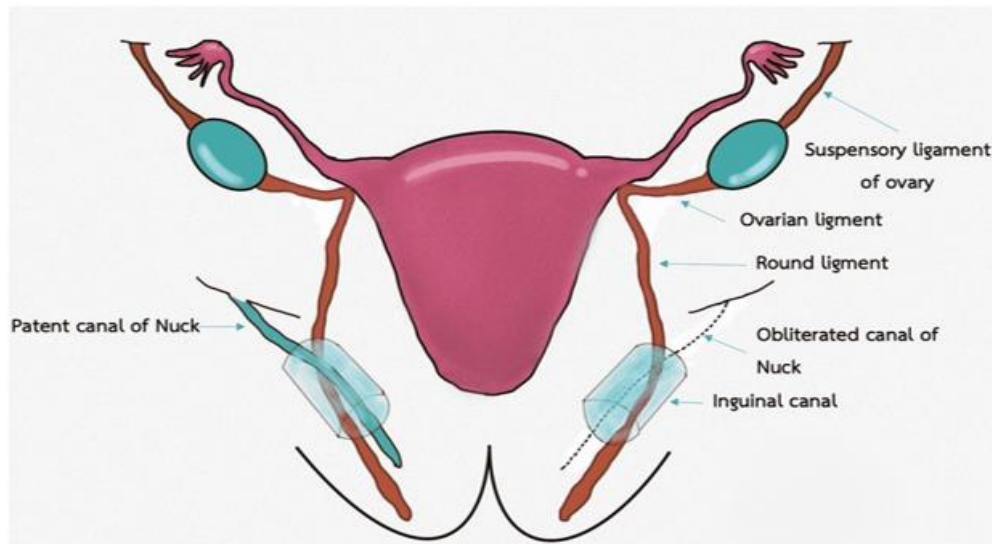


女性の場合

ミュラー管が合体して子宮

卵巣は導帯と連続しているがアンドロゲン不足のため下降せず。

導帯の遠位端は大陰唇に相当



導帯は子宮と付着し、卵巣は固定される。

卵巣は下降しないままだが  
通路は作成される。

即ち、腹膜腔に袋((Process vaginalis))は生じ横走筋、内腹斜筋、外腹斜筋の折れ込みは生じる。

正常ではその後、閉鎖され鼠径靭帯として残存

通路の閉鎖が不十分だと鼠径ヘルニアが生じ、腹膜腔の袋の閉鎖が不十分だとNuck管と呼称される袋が残存

# 女性に生じるNuck管と男性の陰嚢水腫

- 睪丸、卵巣の成熟の際に生じる腹膜腔の袋の残存
- 共に液貯留の嚢胞として残存。
- Nuck管は鼠径靭帯内に生じる

English page

2024.8.30